

第6回東郷地域協議会会議録(要約)

日 時 令和3年2月15日(月)PM7:00～PM8:30

場 所 オンライン会議

出席者 委員26名 事務局4名

次第

1 会長あいさつ

2 議事

(1) 東郷地域計画の策定について

(2) 令和3年度への引き継ぎ事項について

3 報告・連絡事項

(1) 来年度地域協議会委員構成について

(2) 令和2年度地域自治区予算実施状況について

(3) 地域活動交付金団体の活動について

(4) 地域協議会委員報酬及び交通費の支払いについて

(5) 東郷東小学校6年生の7つの提案について

1 会長あいさつ

- ・本日が最後の会議となるので思い残しのないように言いたいことは全部言って欲しい。
- ・定数28人のところ26人の出席があり会議は成立している。
- ・会議録署名について、会長及び署名委員を2名指名し署名をお願いした。

2 議事

(1) 東郷地域計画の策定について

約1ヶ月間パブリックコメントを行った結果、意見が1件あった。それを踏まえて、佐々木委員から地域計画策定について説明があった。

・地域計画のパブリックコメントについて修正をし、これで概要版とともに、各戸配布の準備を進めていきたい。

・地域計画に記載している言葉などについて、以前に委員に配布したものから少し修正を行っている部分もあるが、良い形になったかと思う。

・冊子に関してはパブリックコメントの要望であったように、各区に2部ずつ配布したい。

・この地域計画は、今後変更していく場合もあり、現時点での計画として策定しているものなので、その辺りのところも、区長さん中心に各地域に伝達していただきたい。

・まだまだこれから先、この作った冊子をもとに、いろんなものが新しいものが作られて、地域のことや、地域協議会のことが住民のみなさんに伝わっていくといい。

○主な意見

会 長 鮎滝の正式名称は鮎滝(笠網漁)ということか。

委 員 鮎滝だけの記載だと、全国唯一の笠網漁ということが分からないので、分かっ

てもらうために記載してほしいとのことだと思う。そのように修正いただきたい。

審議結果

地域計画冊子、概要版については、パブリックコメントで出た意見を反映し、完成ということとなった。概要版は3月16日の区長発送で各戸配布を行う。

(2) 令和3年度への引き継ぎ事項について

今年度議論し決定したことや次年度も引き続き継続的に審議してほしいことなどをまとめた令和3年度への引き継ぎ事項について説明を行った。

審議結果

令和3年度への引き継ぎ事項については、特に意見もなかったことから原案のとおりとなった。

3 報告・連絡事項

(1) 来年度地域協議会委員構成について

事務局から来年度の地域協議会委員構成について説明を行った。

○主な意見

会 長 前回の会議で、協議会の定数を3名増やすことが決定した。この理由としては、これで地域計画が完成し、来年度からは計画推進に本格的に動いていくことになるため、今まで以上に委員の数が必要だということ、また、計画を推進していくためには、ある程度継続的に地域協議会を経験している人がいたほうが物事が進みやすいということから、3名の増員に至った。

(2) 令和2年度地域自治区予算実施状況について

事務局から令和2年度地域自治区予算事業(全10事業)の実施状況について報告した。

○主な意見

委 員 スポーツバイク普及推進事業の東郷中学校の裏山のマウンテンバイクコースに先日こどもと初めて行ったが、最初こそ本当におどおどしながら下っていたが、やってるうちにすぐに慣れて、結局7周くらいした。すごい楽しかったと言っていた。これからどういうふうに運用されて、どのように活用されるのか気になるところ。それによってはすごくいろんな人といろんな子たちが自由に使える空間になるといい。

委 員 私もそのコースを走らせていただいたんですけども。大人でも思った通り走れなかったため、子供には十分な設備だと思う。うちの子供は昨日も個人的に行ったので、やっぱり楽しくてまた行きたいというふうになっていた。今後は、スクールを考えたり、整備をもう少しすれば、もう少し家族で参加でき、遊べる場所になるんじゃないかなと感じた。

事務局 これでおおかた整備も完了したので、ケッターパークのプロモーションビデオも完成したら、今年度末ぐらいを目処に、コロナで大々的にオープンはできないが、まずは委員の皆さんに案内をしていきたい。

事務局 また、東郷のホームページについては現在製作中。掲載する記事を地域の人にインタビューして作成するための東郷広報PR部というのが発足された。

委員 その広報部では、東郷の何人かの方々に集まっていただき、どのような形でホームページ作っていくかというのを話し合っている。東郷地区に関連する人々に取材を行い、企画を立て、その地域のことが伝わるような形で作っていききたいと思う。やりたいよという方がいらっしゃったら、ぜひ関わってほしい。よろしくお願ひしたい。

(3) 地域活動交付金団体の活動について

おおむねどの団体も申請された通りの実績報告が出てきているが、こども園の移動動物園については、中止となってしまった旨を報告した。

○主な意見

市村副会長 コロナでいつ事業を実施するかによって、開催できるできないという差があるのが申し訳ないと思う。これは仕方がないことだけだ。

(4) 地域協議会委員報酬及び交通費の支払いについて

令和2年12月から令和3年2月までの分は令和3年3月に支払いを行う。

(5) 東郷東小学校6年生の7つの提案について

1月下旬に行われた東郷東小学校6年生が東郷を良くするためのアイデア発表会という授業に会長及び副会長で出席し聞かせていただいた。

○主な意見

会長 今の子は大変賢くなっている。ふるさとを愛する気持ちがあつて、良い意見がたくさん出ていた。大変良いことだと思った。少しでももっと交流できたらいい。また、小学生も、この地域協議会の中に入って来て、意見を言ってくれたりするとお互いに刺激になるんじゃないかな。大人顔負けで、考えていることは大人と変わらなかった。特にこれから、インターネットを通じて交流できればいい。

市村副会長 発表も棒グラフや円グラフを使って、みんなにわかりやすいように発表していた。やっぱり東郷に住んでる人として、同じような問題点とか同じような感じを持ってんだなと思って、もうこれからどんどん子供の意見も聞かないといけないなと思った。

委員 ありがとうございます。子供たちすごく、張り切って発表できてよかった。6年生の教材で、まちの幸福論を考えるっていう教材が載っている。やっぱり日本全国どこも過疎高齢化が進んでいて、各まちでいろんな問題点を抱えている。新城市も同じように問題を抱えていて、その問題を洗い出し、他市がその問題を克服す

るためにどんな取り組みをしてるかを調べて、新城市にどんなふうに生かせるんだらうかっていうことが発表の内容だった。せつかくの機会なので、みんなが住んでいる東郷地区でそれを考えてみたらどうかかなということで、東郷を良くするために子供たちが一生懸命考えたいろいろなアイデアを、当日発表として聞いていただいた。やっぱり東郷に住んでいるからこそ、歴史のまちに自分たちが住んでいるんだってということの思いは特に強かったように感じた。それを強みにしていけたらいいなというような発表がたくさんあった。何を発表するかということよりも、実はここでどのように発表したら伝えることができるんだらうかということ学ぶという教材だったが、自分たちが進んでいる東郷を良くするためには、どんなことを考えたらいいのかということと同時に学ぶということが出来る機会になって良かった。先ほどホームページの話もあったが、子供たちがぜひ広報委員とか、自分たちが考えたことを発信する場として活用していくところとも、小学生や中学生がコラボしていくと、いろんな目線で東郷の良さを発信していけるんじゃないかなということも思ったので、広報PR部長の佐々木委員がまた今後その辺のことも考えてやっていただけるんじゃないかなということも期待している。

- 会長 小学生や中学生の意見を載せるようなところをホームページに作って、そこに書き込めるようにしたらどうか。
- 事務局 製作中のホームページの一番下のところに目安箱みたいなご意見募集コーナーがある。そういうところで子供たちの声とかも拾えれたらいい。あと、今回の小学生とのコラボもそうだが、市の取り組みで、中学生議会や若者議会もやっているの、地域協議会とどんどんコラボして、子供や若者の声を、地域で拾うようなことが来年以降できたらいい。
- 委員 子供たちの声をホームページであげるとなると、保護者の方とかがよく見てくれるので、東郷地域協議会のことを知ってもらえることができる。子供たちの意見もぜひ取り上げながらやってくと、より広報活動として有効的な手段だと思う。子供たちの方が小さい頃からパソコンとか慣れているので、頭も柔らかく、結構面白いアイデアが出るかもしれない。
- 委員 例えば東郷の何か良いところを動画に取り編集してあげてもらっても面白いかもしれない。こどもたちに1人1台タブレットが配られるようになるので、そういうのを持って何か外へ出て行って、動画を撮ったり、写真を撮ったりしてそれにコメントをつけて、アップすることも、割と簡単にできるようになってくんじゃないかなと思うので、うまく活用できるといい。
- 委員 中学校で何かそういう部活とかそういうのはできないのか。
- 委員 いきなり動画の部活動というのができるっていうのはなかなかない。ただ教育的な活動の中で、例えば八名中学校では企業取材して、動画を今YouTubeに上げているので、部活動じゃなくても、学校の教育活動の中でやっているところもある。ただ、いろいろ難しいところもある。
- 事務局 地域協議会とこどもたちがコラボするような話を実現するためには、どういうふうに東郷の学校に話を持っていくのがいいのか。
- 委員 学校側がどう考えてるかだと思う。声かけてもらえるのが一番ありがたいのかなという気はするが、学校側に負担少なくというのが一番やりやすい。

- 委員 iPadはいつ配るのか。
- 委員 来年度から導入予定。
- 委員 学校の中の無線WiFi工事も終わった。
- 委員 iPadが来年度からは使えるが、ただ、家に持ち帰ったりとかは最初のうちはできないが、将来的にはそういうふうには、持ち帰ったりすることにもなるかもしれない。
- 委員 ただ、プライバシーに関することは、保護者の方に確認をとったりとか、身近に簡単に写真載せたりとか、どう話したりとか、こちらもチェックしたりとかもしいけないので、パッと取ってパッと流すっていうのはちょっと学校的にもなかなかセキュリティ的な問題がある。
- 委員 子供たちの本当に写ってはいけないようなところが流れてしまう可能性もある。子供たちを守るという側面も、学校側としては考えないといけないので、その辺りがややこしいというか面倒くさかったりもするが、どこまでのラインにしていくかっていうのはやはりその学校だったり教育委員会とも確認しないといけないことではないかなと思う。どっかでチェック機関みたいなのは必ず必要だと思う。
- 委員 子育て支援グループの第3号のチラシができた。今年は少しコロナでほとんど自分たちが考えてたことがやれなかったが、情報誌を作るっていうことが、唯一活動の中心としてできた。第3号では、東郷の地域協議会のことを載せさせていただいて、地域計画の中の3つ目の柱の育てようというところで、私たちが頑張って来年もやっていくのでよろしくお願ひします、というようなことを掲載している。これはもちろん関係したところには全部まわして掲載許可をとっている。来年の東郷の計画が、推進されていくことを、私たちもこういった形で応援していきたいなというふうには思っている。

【その他自由意見交換】

- 会長 地域の足を考える会の進捗状況の報告をお願いしたい。
- 委員 今のところ2回会議を開いた。1回目は、事前に委員からアンケートをもらい、今の交通や福祉の現状の問題点だとか課題だとかわからないことの勉強会を行った。先週の2回目の会議では、それらの問題点を一つ一つ意見を聞きながら集約してる状況。これから、いよいよ交通の仕組みといったところを、第3回目以降に、どういった利用者が、どのような仕組みを望んでいるのかといったことをつなげて話をしていこうと思っている。
- 市村副会長 本当に困っている方々の声をどのように拾い上げればいいのかと思っている。私はミニディやっているが、Sバスは今は使わないが、将来的に使いたっていう人もいるので、そういう人達にどのようにPRするとか、もっと便利にするのにはどうしたらいいかってまだまだ勉強しないとイケないことがいっぱいある。
- 会長 それから前回に東郷地域協議会の女性委員だけの会議をやっていたので報告をお願いしたい
- 委員 女性は働いてたり専業主婦だったりするが、緑が丘の方たちは、女性が育休を取っている間に、子供をお互いに見るといふ会みたいなのがあって、そこで横の繋がりがあつたりとか、妊婦さんが車を持ってなくて、電車で病院に通って苦勞された経験とか、女性のほうがこども園に送り迎えしたり、買い物の不便さとかも

知っており、普段の活動から地域にずっと根ざしているよねっていう話になり、男性の方は割と地元出身の方も多いが、やっぱり退職されるまでは仕事の方が中心で、女性が若いうちから子育てを通して地域で密着し活動しているので、お母さんたちが思ったことなんかをもっと反映できる場があればいい。

会 長 今後も継続して女性会議をやったほうがいいか。

委 員 私は今年度で委員をやめてしまうが、今度新しくなる方、特にズームだと新しい方は30名の委員がいる中でなかなか発言しにくいと思うので、女性だけとか世代が近い人だけでとかで話すことができれば安心感はあると思う。もし来年あるなら、1～2回を早いうちにやってもらえたらいいのではないかなと思う。

会 長 防災関係で報告をお願いしたい。ちょうど最近、地震が起きて身近な問題になった。

委 員 今年度最初に東郷で防災を考える会が一応発足したが、コロナであんまり活動できていない。来年度の予算もつけていただいているので、各地区の自主防災会の横の繋がりを作り、この東郷でどんな災害が起こりうるのか、どんな危険があるのかということ議論していきたいというふうに思っているので、今後ともご協力をよろしくをお願いしたい。

委 員 2～3日前の新聞に載っていた防災士の件で、各行政区から防災士を出そうと言っているが、そもそも防災士とは一体何だろうって。防災士が何をやってるかと言われると、何もやっていない。地域自治区予算で各行政区が防災士の資格取得のために、講習を行かせるためのお金を出しているわけだが、そもそも防災士の活動がよくわからない。そういう制度は作ったけど、実際は全然活動していないって事例が全国的にある。

委 員 私も予算をいただいて防災士になった1人。公益社団法人だか財団法人だか、そういう団体が日本防災士機構を作ってやっている。災害が起きたときにリーダーシップをとって活動するというのもひとつの役割だと思うが、一番大きな役割というのは、地域住民の防災意識を高めるというのが一番大きいんじゃないかなと思う。分厚い資料を読んで、試験を受けて合格したが、やっぱりそこをうまく自分で吸収し、それを地域発信できてないということがある。今後、この東郷地区なんかでも、もっと防災意識向上を高めるために活動していかなければと思っている。

委 員 今現在はコロナ禍の中で、防災意識が非常に薄くなっている感じは大きい。だからせつかく防災士も資格を取った以上は、防災士の方が集まり、皆さんに報告するとか何かいろんなことをして欲しい。何のために行政からお金払ってもらって取ったのか。

委 員 今年度はコロナ禍の中での防災訓練であったけれども、防災士って誰1人も名乗る人も出ないし、また我々も本当に寸前まで考え抜いていた、何ってやるわけじゃないんだけど、そういう時に限っては絶対に防災士がそういう知識を持っているのであれば、もっと区長会とかに出てきてもらって、アドバイスが欲しいと思った。

委 員 緑が丘にも防災士が3名ほどいると思うので、声をかけて今後活用できるようにしていければ。

- 委員 そういうふうにおっしゃるが、一応、私が今年ちゃんと防災士になって、防災士の資格を取りに行っていたとわかるが、日本は本当にいろんな災害があって勉強になる。そもそも防災士なろうと思ったのは、正直言ってこの東郷地域の予算がついて誰も行かないというのに腹立てて参加した。まず防災士のことを知っていただくなら、防災士の資格を取っていただくのが本当が一番いい。横川地区としては、今年度、防災訓練として集まらなかったが、全世帯に黄色い旗を用意し、時間になったら、避難完了うちは大丈夫という意味の黄色い旗を立てるといふ訓練をした。自分も防災委員、防災士として、いろんなことを話をした。防災士は何もしていないって言われると、横川地区に関しては活動している。やっている人はいるということだけはわかってほしい。
- 委員 緑が丘は若い防災士もいるので、しっかりと自主防災会が声かけて話してもらえた方がいいと思う。平井区では、防災マニュアルってのを、平井区で今作成している。平井も防災士の資格を取った方が5～6人ぐらいいるので、一生懸命皆で月1くらい集まってやっている。ここはやっぱり各地区で温度差があると思うので、ぜひお声がけをお願いします。
- 委員 このことは来年度の区長に引き継いでいく。何が協力できるか、相談しながらやっていけばいい。手を差しのべていきたい。
- 委員 ただ、防災って結局普段何か起きれば皆さん意識するが、何も起きなければなかなか意識しない。さっきコロナのせいっていうこと考えたら、防災士が言うのも大事だし、他の方が言うのも大事。どうやって防災を意識していくかというのはなかなか難しいが、そういったことを防災知識とかいろんなことを知るといふひとつに防災士になるというのは良いと思う。自分も行って火山のこととかも学べてすごく勉強になった。ただ、防災士になるのがすべてじゃないと思うし、何かいろんな形で防災についてみんなで学んでいくような機会がどの地域でもあるといいなと感じた。
- 会長 感染症も災害の一種だと思うが、防災士の研修の中で感染症の話はあったか。
- 委員 なかった。
- 会長 これまで感染症については全く無計画だった。日本はそれで混乱した。これから災害のひとつとして、感染症も考えていかないといけない。
- 委員 駐輪場の件で、自転車等駐輪場設置技術の手引きっていうのが、インターネットで検索すると出てくる。新年度始まるまでに、検索して見ておいていただくと。大変技術的なことがたくさん書いてあるので参考となれば。
- 会長 駐輪場は10㎡以上など大きいものを作ってしまうと、非常に複雑な法律的事項や手続き上のお金がかかる。建築確認や測量しないといけないだとか。まず1ヶ所ずつ作ってみようかと検討している。もし来年から再来年やるのであれば、利用者に合わせた小さい形状のものがまずいいかなと思っている。
- 委員 いわゆる市役所の中の問題と、それからJRさんとの関係から、建築基準を考えたときにどういう問題があるのかをメモしてあるので、事務局に渡しておく。
- 委員 5月中らしいが、フォトログというのが東郷で開催されるらしい。
- 委員 フォトローグとは写真を撮りながらオリエンテーリングをするイベント。地図が配られてその場所に行つて写真を撮つて、戻つてくるとポイントになる。

- 委員 東郷で歴史を絡めてできないかということに関係者から言われた。東郷の方で何か関わっていただけるなら、というようなことだった。コラボができれば良いアピールになるのではないかな。
- 会長 設楽原ボランティアガイドの方に言ってもらえれば、協力してくれると思う。
- 委員 地域自治区ではなかなか難しいということか。
- 会長 ボランティアガイドの会があるのでそこに協力を頼めばいいのではないかな。
- 会長 最後に、八木所長からご挨拶をお願いしたい。
- 所長 1年間東郷地域協議会の運営にご尽力いただきましてありがとうございました。今年は、私3年目の経験だったが、コロナで始まりコロナで終わるというか、まだコロナは終わらないが、本当に予期しない出来事ばかりたくさんあり、皆さんの日常生活、あるいは市の運営、そしてこの協議会の運営でもいろいろ思いがけないことが起こる1年だった。でもよくよく考えてみると、今年1年間と本当に実りの多く、今までずっと努力を積み重ねてきたことが実って、少し収穫ができるような、また、それ以上の実がついて、次年度以降に伝わっていくような1年にできたんじゃないかなと実感している。特に地域計画が完成し、10地区のうちの10番目に完成して、これで新都市の地域協議会がすべて地域計画を持つことになった。これからその計画を具体化していくっていうことが、大事になっているなというふうに思っている。東郷のキャラクターも生まれて、車に貼ったらいいじゃないかという話もあるので、私もどっかに貼ろうかなと思っていたり、ホームページも3月末には何とかできるということなので、東郷地区の皆さん、それだけじゃなくて他の地域の方にも見てもらい、東郷を訪れるきっかけにもなるといい。そういう新しいスタート地点を作ることができた1年だったというふうに思っている。今年度で任期が終わる方も、いろんな形で地域協議会の活動に参加し盛り上げていただけたら。本当にこの1年間ありがとうございました。またよろしく申し上げます。
- 会長 1年間皆さん、ズームという形で、慣れないことであって大変だったと思いますけれど、こういう技術というものは、必ずまたどこかで役に立つときがある。何をやるにしても、これからそういう技術がないと、世の中にアピールできない時代になってしまったので、そういうネットの技術というものをもっともっと活用して、楽しい世の中にしていかなくちゃいかんと思う。事務局の多大な尽力があつて、やっと今日全員がオンラインで揃った。本当に1年間お疲れ様でした。

【20:30 終了】